

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

石川県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う  
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について（H29.2.2 13：30）

石川県加賀市において1月15日に回収されたヒシクイ1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月31日（火）～2月2日（木）に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況や糞便採取などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

## 1 調査結果

○1月31日～2月2日にかけて、石川県加賀市の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内の、渡り鳥の飛来地等の計15地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。なお、調査チーム派遣期間内に野鳥監視重点区域内において採取した糞便検体については、現在国立環境研究所にて検査中。

○石川県及び福井県等により調査期間内に野鳥監視重点区域内で回収し検査した死亡野鳥等は認められなかった。

### （参考）

○観察された鳥類 56種

うち、リスク種1 6種（コハクチョウ、キンクロハジロ、ヒシクイ等）

リスク種2 9種（マガモ、トモエガモ、オナガガモ等）

リスク種3 15種（コガモ、ヒドリガモ、カルガモ等）

○糞便サンプル数 20検体（糞 100個）

\*本調査結果は暫定値です。

\*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

## 2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、石川県および福井県等と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

**※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。** ([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成29年2月2日(木)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

中部地方環境事務所野生生物課

直 通：052-955-2139

課 長：酒向 貴子

広域鳥獣保護管理専門官：齋藤 佑介